

共同研究会大塚班  
運動としての大衆文化  
第3回共同研究会

日時:2018年2月17日(土)-18日(日)

会場:国際日本文化研究センター

2月17日・・・第1共同研究室

2月18日・・・第3共同研究室

プログラム

2月17日

- 13:30⇨4:30 竹村民郎氏 報告 (ゲストスピーカー)  
14:30⇨5:00 質疑・討論  
15:00⇨5:10 休憩  
15:10⇨6:10 アーロン・ジェロー氏 (ゲストスピーカー)  
16:10⇨6:40 質疑・討論  
16:40⇨7:30 石本悠馬氏 報告 (ゲストスピーカー)  
メキシコワークショップ「日本のまんが家と地震の日のことを絵巻アニメにしよう」  
17:30⇨9:00 懇親会(日文研内)

2月18日

- 13:30⇨4:30 川松あかり 報告  
14:30⇨5:00 質疑・討論  
15:00⇨5:10 休憩  
15:10⇨6:10 鈴木洋仁 報告  
16:10⇨6:40 質疑・討論  
16:40⇨7:30 アルバロ・エルナンデス 調査報告  
「身体物語——メキシコプロレス「ルチャリブレ」レスラーヒアリング」

「運動としての大衆文化」第3回目です。

今回は「運動」が生み出す文化と理論について考えていこうと思います。

17日は「職場の歴史をつくる会」の代表を務め、職場の歴史・個人の歴史をつくる運動に実践的に携わっておられた竹村民郎さんをゲストスピーカーにお迎えします。氏の進められた、労働者の現場から社会を文字に起こす運動は「公民の民俗学」の戦後に於ける実践ととらえられるのか。牧野門下を自負するアーロン・ジェローさんの映画理論と運動が緊密な関係にあった戦前の映画界をめぐる報告です。また、実践報告として、障がい者施設などでアニメーション制作ワークショップを実践する石本悠馬はメキシコで子どもらと制作した動画を紹介します。

18日は、元ニコニコ動画で国際交流基金をへて研究者に転じた鈴木洋仁さん、民俗学者として「語り継ぐ」運動にコミットする川松あかりさんの経験をふまえた報告を聞きます。民俗学は運動たり得るのか。ニコニコは「運動」なのか、議論が深まる一日となるでしょう。アルバロはメキシコプロレスについてのヒアリングの紹介をします。